



もしかしたらあなたも加害者？ 「香害(こうがい)」のはなし

皆さんは、「香害」という言葉をご存知ですか？

香害とは、文字どおり、「香り=いい匂い」が、周囲の人に悪影響を及ぼす公害のことです。2000年代後半以降、衣服の柔軟仕上げ剤は、香りの強さや種類、芳香性が多様化して商品が増え、いろいろと選べるようになりました。それに伴い、毎年130~250件程度の香害トラブルの相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。

*参考・出典：独立行政法人国民生活センター「柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供(2020年)」



【香りでこんなトラブルが起きています】

- 同じ職場で働く同僚の服から、いつも強いローズの香りがする。部屋中に充満しているので、気分が悪くなった。
- マンションの隣の部屋は、洗濯機をベランダに設置している。隣が洗濯すると、柔軟仕上げ剤の匂いが自分に入って頭が痛くなる。窓を開けられない。
- 通学の時、電車で近くに立つ人の服から、柔軟仕上げ剤の甘い香りがした。好みではない香りで、長時間にわたり気分が悪くなった。
- 香りが一日中ずっと続く柔軟仕上げ剤を広告で見て、自分で試した。服から上がってくる香りが強くて、頭痛や吐き気を覚えた。その時以降、化学物質過敏症になってしまった。



■ 相談員からのアドバイス

1. 自分はいい香りだと思っけていても、他人は嫌いな匂いかもしれません。
2. 頭痛や吐き気、じんましんなどのアレルギー症状など、身体に異常が生じたら、すぐに使用を中止し、医師の診察を受けてください。
3. 香りの強いタイプの柔軟仕上げ剤を使う場合は、必ず使用方法の説明書きをよく読み、使用量を守りましょう。
4. 商品の説明書きには、香りの強さの目安が表示されている場合があります。参考にして選びましょう。



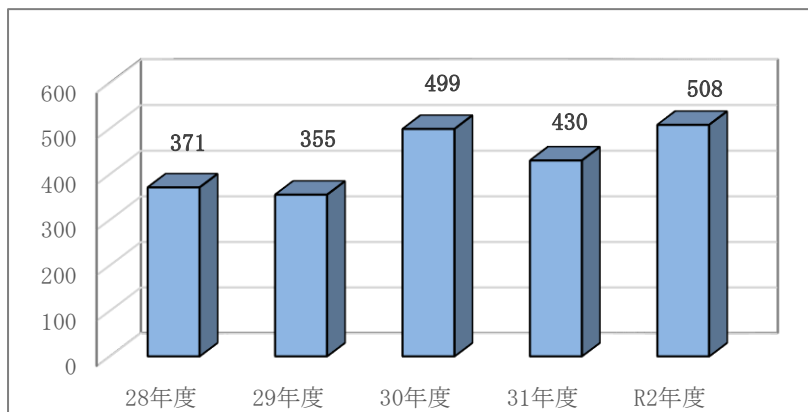
(消費生活相談員)

【令和2年度 消費者相談概要】



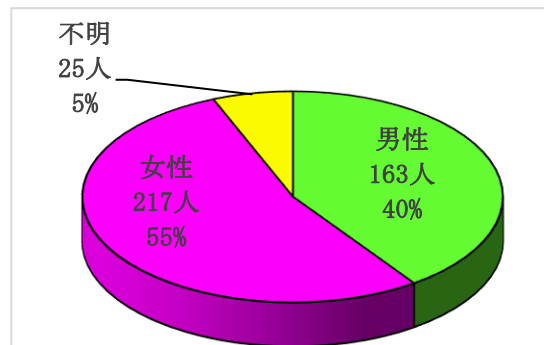
令和2年度に稲城市消費生活センターに寄せられた相談件数は508件です。前体の件数は昨年比で78件増加し前年度より18%増となっています。

■相談件数の推移



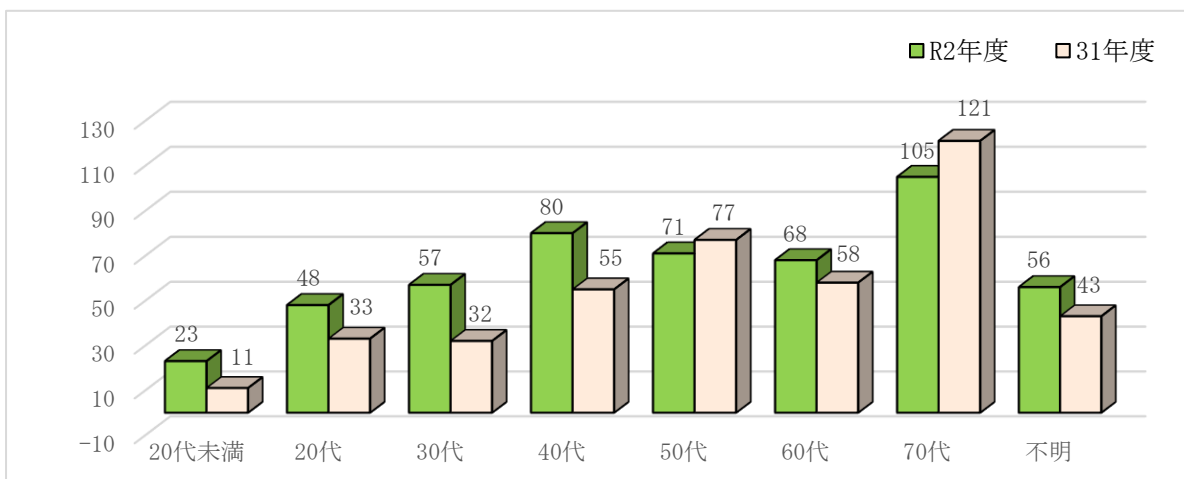
相談者の男女別構成を見ると、女性の割合が増加しています。今年度は、男性40%、女性55%でした。

■男女別受付状況



※年代別構成では、70代の相談が最も多くなっており、高齢者を狙った悪質商法が増加していると考えられます。

■年代別件数



■相談内容別件数上位5分類（商品・サービス別）

1位	運輸通信サービス 93件 (携帯電話サービス、光回線、オンラインゲーム等)
2位	教養娯楽品 49件 (新聞勧誘、腕時計、ノートパソコン等)
3位	保健衛生品 46件 (化粧品、脱毛クリーム、美顔器等)
4位	食料品 44件 (嗜好食品、健康食品、ダイエットサプリ等)
5位	商品一般 40件 (食事券、買取業者の誇大広告、入店拒否等)

相談上位5分類をしてみると、運輸・通信サービスに関する相談が最も多くなっております。「SMSにメールがあり、電話会社の名前が書いてあったので電話をかけたところ、身に覚えのない有料サイトの登録料が未納と言われた」など架空請求の詐欺相談が多数寄せられています。実在する会社名を名乗った詐欺であり、消費生活センターでは無視するようにと助言しています。

おかしいと思ったら、まずは消費生活センターや全国共通の電話番号「消費者ホットライン」局番なしの

188 (いやや!) にご相談ください。

また、稲城市では今後も、「消費生活センターだより」や「広報いなぎ」などを通じて注意喚起の発信をしてまいります。



【稲城市消費生活センター】

- ◆相談電話 042-378-3738
- ◆相談日 月曜日～金曜日（祝日除く）
- ◆相談時間 午前9時30分～正午
午後1時～3時30分